

東京さくら会計事務所通信

-Let's begin together-



第25号

税理士法人東京さくら会計事務所のシンボルマークです。
「宇宙」をイメージしております。



中野サンプラザ総会にて

目次

◇新年のご挨拶

代表社員 総代表	横尾 和儀	2P
代表社員 銀座事務所所長	宇田川良雄	
代表社員 三鷹事務所所長	五老 辰雄	3P
新宿事務所所長	井出 俊一	
小金井事務所所長	岩戸 三和	4P
埼玉事務所所長	氏家 健二	

◇税務特集

『子ども手当創設に伴う扶養控除の見直し』	5P
◇第11回 東京さくら会計事務所ゴルフ大会観戦記	6P
◇業種別ホームページアドレス	7P
◇事務所だよりコーナー・編集後記	8P



新年のご挨拶



代表社員 総代表

横尾和儀

新年あけましておめでとうございます。

関与先の皆様方におかれましては、御健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は中国、ロシア、北朝鮮と日本を取り巻く諸外国との外交問題がクローズアップされ、日本政府の毅然とした対応、対処の必要性を痛感すると共に、国民に対する信頼回復と不安解消を望む一年でした。又、経済においても景気回復、日本を活性化する税制改正が期待されますが、まだまだ不安定な状況は、しばらく続きそうです。

そしてこうした時代だからこそ、企業においてしっかりとした事業計画が必要なのです。1年はあっという間に過ぎてしまいます。計画がないと目先の問題解決のみに時間を費やします。そして次から次と発生する日常の事だけが、気がかりとして蓄積され、もやもや状態が続く事になります。かと言って長期計画では時代が変わってしまい、先が読めません。5年位の中期計画が必要不可欠なのです。5年後に自社がどのようになっているのかというビジョンを社員に示すのが、社長の重要な役割です。その為には先ず、社長（経営者）の思いを、頭の中も心の中も空っぽになるまで、キャンバス（大きな白紙）に吐き出すのです。これ以外何もないというまでです。次にそれを達成する為に、5ヶ年の年表にテーマ毎に分類し、年毎に並べます。それが中期5ヶ年計画なのです。あとは5年後の姿とそのプロセスを全社員の前で知らしめる事です。是非やりましょう。

この新しい年が、皆様にとりまして、益々の御繁栄と御健勝の年でありますように、心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。



代表社員 銀座事務所所長

宇田川良雄

新年あけましておめでとうございます。

平成23年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は格別のお引立を賜り厚く御礼申し上げます。

税理士法人東京さくら会計事務所銀座事務所も昨年より新体制で発進し、ここに新年を迎えることができましたことは、皆様のご支援の賜物であり深く感謝いたしております。

銀座の街も新年の装いが晴れやかであります。新旧の交替が次々とあり、時代の風向きを肌で感じるとともに、何が求められているのかを考えざるを得ないこの頃です。新しい勝機をどこに見出すか。そこで顧みると、わが国には古都京都を初めとして三百年以上連綿と続いている老舗が数多くあります。その数はヨーロッパを抜いて世界でダントツの多さだそうです。今日まで繁盛しているのは「家訓」「社是」にあるという特徴をもっているのではないかと。そして必ずといってよいほど店を支えてくれている顧客や地域社会に対し、常に感謝とご恩返しのお気持ちを忘れてはいけないという内容が入っている事実があります。例えば室町時代に発祥した近江商人の有名な、あの「売り手よし、買い手よし、そして世間よし」の商業理念をかみしめて、これを基に一步一步づつ本年を乗り切ろうではありませんか。

目を現代に向けてみますと、かの経営学の泰斗ドラッカーが、企業戦略の重要なファクターとして「イノベーション」をあげています。新技術の開発と捉えられがちですが、「最終的には社会による影響を与える改革」と定義しています。企業は社会的使命を負っている組織体でもあるのです。

末筆ながら、この新しい年が皆様にとって実りある年でありますよう心から祈念申し上げます。



新年のご挨拶



代表社員 三鷹事務所所長

五 老 辰 雄

新年あけましておめでとうございます。クライアントの皆様、ご家族お揃いで、すがすがしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

毎年のことではありますが、家族・知人・取引先（事業等）のことを思いながら希望あふれる一年の計画に心はずませながら、新春のひとときを送られていることと思います。しかしながら、ここ数年、日本の経済・政治に明るい兆しが見えないどころか、不安がただよっています。さらに、中国・ロシア等のゆさぶりを受け、外交に関しても不安要因は増すばかりであります。こんなことを考えながら、自分も内向きで落ち込んでしまします。このような閉塞感を打破する方法があるだろうかと思問自答しています。政治や経済が悪いと嘆いても、問題解決にはならないことは理解しておりますが、微かな明るい見通しぐらいは欲しいものであります。そして、現代の新たな不安要因として、現在、あふれるような情報社会と共に生きている私達には、処理しきれない多量の情報が世界を駆けめぐり、その情報によって世界情勢が大きく変わる時代となっています。その情報には善悪、清濁、危険・・・そういう矛盾の一切を含んだ、混沌とした時代の情報が入ってきます。これらの情報と対峙していくには、一喜一憂するのではなく、楽天主義を根底に逃げることなく積極的に関わっていくしかありません。

それには、視点を変えて、変化の時代を恐れることなく、『面白い時代』を生きているんだと楽しむぐらいの心のゆとりを持って、今年もいろんな問題や驚くような情報が次から次へと入ってくると思われますが、前向きに楽天的に事業に挑戦していくことによって、多様な選択肢が生まれ、その情報をうまく生かして、新しい分野を切り開いて行こうではありませんか。

今年度の皆様のご健勝を心から、お祈り申し上げます。



新宿事務所所長

井 出 俊 一

新年あけましておめでとうございます。

関与先の皆様方におかれましては、ご家族おそろいですがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろより格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、税理士法人東京さくら会計事務所新宿事務所が新たにスタートした記念すべき一年となりました。

所員一同、初心にかえって東京さくら会計事務所の幅広いネットワークを活用し、さらに研鑽しサービスの向上に努め、地域に根ざした事務所、お客様のニーズに応えていける事務所づくりをしていきたいと考えています。

ところで、昨今の社会経済情勢をみますと、経済活動や取引の変化のスピード、国際化、高度情報化、広域化、さらには経済活動等の一極集中の明確化、社会構造の変化、意識の変化、こういった状況がとうとうと進展しているところであります。

このような変化に対しては臆することなく、社会が成熟する過程という意味で前向きに捉えることが必要であります。

これらの諸点に的確に対応していくためには明確な方向感覚を持ちつつ、常に問題意識を持って見直していくこと、適時適切に対応していくことが肝要であると考えております。

最後になりますが、皆様方とご家族の皆様には、健康にくれぐれ也十分にご留意していただき、この新しい一年が最良の年となりますよう心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



小金井事務所所長
岩戸 三和



埼玉事務所所長
氏家 健二

新年あけましておめでとうございます。

関与先の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

新しい年を迎え、この一年が希望に満ちて、輝かしい年になるよう祈りますが、日本経済はいまもって回復していません。中小企業を取り巻く業況も依然として厳しい資金繰り、倒産・リストラにより職を持ってない人、少子高齢化の中での将来不安。日本全体にまだ閉塞感が漂っている中、経営者の皆様は企業を守り、維持し向上させるために、年頭どんなことをお考えでしょうか。

企業を維持し向上させる力は、人であると私は考えます。そして、人が企業人として力を発揮するのは、自分の仕事に満足と自信を見出したときだと思います。それは相手（取引先、同僚など周りにいる人）に喜ばれることにより得られます。喜びから得られた力は、周囲もよい影響を与え、全体の力となります。

社員の仕事力は「やる気×能力」で決まるといわれています。やる気・能力ともに高い人材を育てることが企業を強くすることにつながります。

やる気と能力を高めるためには、社員自身の目標が何であるのか、そしてその目標のために何をすべきかに自ら気づいてもらうことが必要です。経営者や管理者に求められるのはコーチングを活用し社員自身の気づきに働きかけることです。仕事力を高めた社員は良い結果を経験することでさらに強くなり、個人の力が総合体である組織へと繋がっていきます。

簡単ではありませんが、まずは経営者・管理者の皆様がコミュニケーション力を駆使し社員に働きかけ、人材力＝企業力につなげ、困難な時代においても益々ご発展されますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

関与先の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになったことと心からお慶び申し上げます。

本年平成23年の干支は「辛卯（かのとう、しんぼう）」です。なにやら、一見して厳しそうな印象を受けてしまいます。意味を調べてみたところ、「辛」には様々な意味がありますが、「つらい」「からい」という意味のほかに、植物が枯死して新しくなろうとする状態を表してもいるそうです。また、上に向かって求めて冒すという意味も持っているそうです。一方の「卯」は、「いばら」や「かや」を表し、よい意味では「繁栄する、繁茂する」とあり、悪い意味では「紛糾し動きが取れなくなる」といった意味を持つようです。更に、卯の文字の両扉を開いた門のような形状から、新しい世界が開けていく年と見ることもできるそうです。

昨年、日本の景気は決して良いといえるものではありませんでしたし、多くの関与先の皆さまにとっても、厳しい状況が続いている状態だと思います。しかし、本年の干支が示すものを私なりに曲解すると「新たな繁栄」だと思います。その新たな繁栄へ向かい、職員一同全力でお客様をサポートさせていただきたいと考えております。

最後に、今年一年が皆様方にとって最良の年となりますように心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





税 務 特 集



～子ども手当創設に伴う影響～

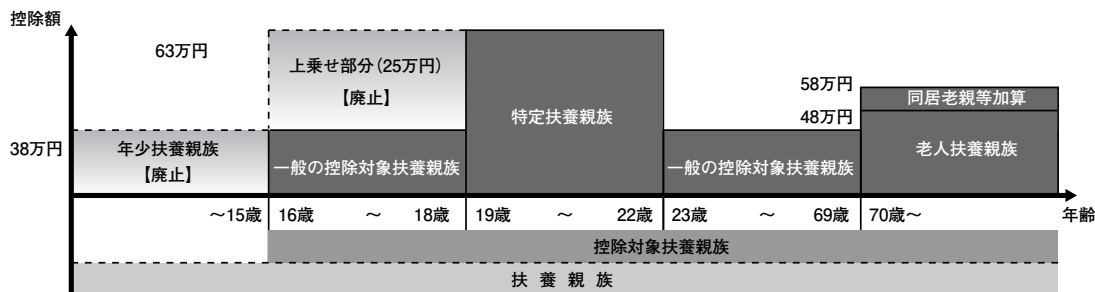
年末調整が終わり、税金の過不足額の精算や納付などを済ませますと、平成22年分についての給与の源泉徴収事務はすべて終了したことになります。

「控除から手当へ」等の観点から、平成23年分の給与等の源泉徴収事務について次のような改正が行われています。

1. 扶養控除の見直しが行われました。

- (1) 子ども手当の創設に伴い、年齢16歳未満の扶養親族に対する扶養控除が廃止されました。
これにより、扶養控除の対象が、年齢16歳以上の扶養親族とすることとされました。
- (2) 高校の実質無償化に伴い、年齢16歳以上19歳未満の人の扶養控除の上乗せ部分（25万円）が廃止され、これらの人に対する扶養控除の額は38万円とすることとされました。
これにより、特定扶養親族の範囲が、年齢19歳以上23歳未満の扶養親族に変更されました。

【年齢別の扶養控除の概要】



2. 扶養控除が無くなるとうなるか例をあげて比較してみましょう。

- 前提条件
- ・給与所得者で厚生年金に加入している
 - ・子供1人（14歳）を扶養している
 - ・共働きのため配偶者控除無し
 - ・その他の所得控除は考慮しません

<平成22年>

	年収300万円	年収500万円	年収700万円	年収1,200万円
給与所得控除後の給与	1,920,000	3,460,000	5,100,000	9,700,000
社会保険料控除	380,670	634,450	888,230	1,156,548
扶養控除	380,000	380,000	380,000	380,000
基礎控除	380,000	380,000	380,000	380,000
課税所得	779,000	2,065,000	3,451,000	7,783,000
所得税額	38,900	109,000	262,700	1,154,000
住民税	91,900	220,500	359,100	792,300
合計	130,800	329,500	621,800	1,946,300

※社会保険料は健康保険料（年収×4.66%）＋厚生年金保険料（年収×8.029%）として計算しています

<平成23年>

	年収300万円	年収500万円	年収700万円	年収1,200万円
給与所得控除後の給与	1,920,000	3,460,000	5,100,000	9,700,000
社会保険料控除	380,670	634,450	888,230	1,156,548
扶養控除	0	0	0	0
基礎控除	380,000	380,000	380,000	380,000
課税所得	1,159,000	2,445,000	3,831,000	8,163,000
所得税額	57,900	147,000	338,700	1,241,400
住民税	124,900	253,500	392,100	825,300
合計	182,800	400,500	730,800	2,066,700
（増加額）	（+52,000）	（+71,000）	（+109,000）	（+120,400）

※社会保険料は健康保険料（年収×4.66%）＋厚生年金保険料（年収×8.029%）として計算しています

上記のように、未成年の子どもを扶養している場合には、平成23年以降、税負担が増えることとなりますが、子ども手当の支給等により手取額は増加します。



第11回 東京さくら会計事務所 ゴルフ大会観戦記



communication

「communication」とは、社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うことだと言われています。インターネットで様々な情報が簡単に手に入る世の中になり、メールや電話といったモノで思考が伝達するようになると、直接的な人と人とのコミュニケーションがますます軽薄な時代になりつつあるように思います。

そのようななかで、10月16日土曜日、秋気が心地よい空の下、第11回東京さくら会計事務所のゴルフ大会が開催されました。ゴルフ場での会話や、笑顔で帰られるお客様の姿を見て、人と人とのコミュニケーションや、心遣いといったものの大切さを、改めて実感したゴルフ大会でありました。

また、次回のゴルフ大会に向けて、初心者の方から熟練者の方まで、皆様で楽しめるようなゴルフ大会を目指しております。ぜひご意見やご要望、ゴルフコースの紹介等がありましたら私達スタッフに声をかけて下さい。

次回も私達と一緒に盛上げていきましょう！！

第11回東京さくら会計事務所主催ゴルフコンペ
川越カントリークラブ
参加人数：95人



優勝 蒲谷 耕一様
ベスグロ 蒲谷 耕一様

おめでとうございます。





業種別ホームページアドレス



IT関連

- (株) ハローワールド
<http://www.helloworld.co.jp>
- (株) Htp
<http://www.http.vc/>
- Authentic Media Corporation (株)
<http://amc41.com/>
- (株) 本多ネットワーク
<http://www.honda-network.co.jp/>
- (有) Slash One
<http://www.slash-1.com/>

医療・健康関連

- (株) フューチャブレイン
<http://www.future-brain.net>
- (株) ペルリカントオ
<http://www.lithology.co.jp/eizo/>
- (有) 日本ベッツ・グループ
<http://www.pet-hospital.org/>
- (株) アスリートウェーブ
<http://athlete-wave.com/>
- (医) 愛雅会 つつみ眼科クリニック
<http://www.tutumiganka.com/>
- (医) 正洋会 アイエスクリニック
<http://www.myclinic.ne.jp/isclinic/pc/>
- (医) 壮明会 山崎内科医院
http://koganei-net.org/yamazaki_naika/
- (株) サンテナチュレル
<http://sante-naturelle.shop-pro.jp/>
- (株) ホームケアセンターイワサキ
<http://www.hcc-iwasaki.co.jp/>
- (株) 龍榮総研
<http://www.ryueisoken.co.jp/>
- (医) 雅美会 りゅうえいクリニック
<http://www.ryueiclinic.com/>
- りゅうえい治療院
<http://www.ryuei-chiryoin.com/>

広告

- (株) 協通
<http://www.kyotsu.jp/>
- (有) エッチビー・スタジオ
<http://www.hbstudio.jp/>
- ユメックス (株)
<http://corp.yumex.ne.jp/>

小売

- (株) 銀座良品百貨
<http://0964.jp>
- (有) 竹松眼鏡店
<http://opt-takematsu.co.jp/>

- (有) トムエンタープライズ
<http://kurumaidou.com>
- (株) 七洋商会
<http://www.nanayo-auto.co.jp>
- (株) Dolfani
<http://www.dolfani.com>
- (有) アズワールド
<http://www.azworld.jp/>

製造

- リ・バース (株)
<http://www.re-birth-japan.com/>
- (株) KOMATSU
<http://www.komatsu-cleansystem.co.jp/>
- (株) エルニクス
<http://members.jcom.home.ne.jp/l-nics/>
- (株) オール技研
<http://homepage2.nifty.com/allgiken/>
- (株) サーモテックス
<http://www.thermotex.co.jp/>
- (有) 佐藤精工
<http://www.sato-seikou.jp/>
- 東洋金型工業 (株)
<http://www.toyomold.jp/>
- 新電子 (株)
<http://www.shindenshi.co.jp>
- (有) 藤電設工業
<http://www.fuji-den.com>
- (有) ランバード
<http://www.runbird.co.jp>
- 小金井テックス (株)
<http://www.koganeitex.co.jp>

不動産関連

- (株) ジョイントホーム
<http://www.jointhome.co.jp/>
- (株) すまいの住空間
<http://sjkuukan.com/>
- (株) DEX
<http://www.dex-com.jp/>
- (有) リアルタートラスト
<http://realter-trust.jp/>

サービス・その他

- (株) トランスファクトリー
<http://www.transfactory.net>
- (有) ヘア・メイクアップ・アリア
<http://www.aria-ginza.jp/>
- (株) ハイライトツアーズ
<http://www.tabikobo.com/tsukiji/>
- (協) 三鷹ハイテクセンター
<http://www.mhc.or.jp/>

*今回は、お客様のホームページアドレスを掲載させて頂きました。協力頂いたお客様には心より感謝いたします。誌面の都合上掲載されなかったお客様には、誠に申し訳ございません。次回、かならず掲載させて頂きます。どうかご了承下さい。



事務所だよりコーナー



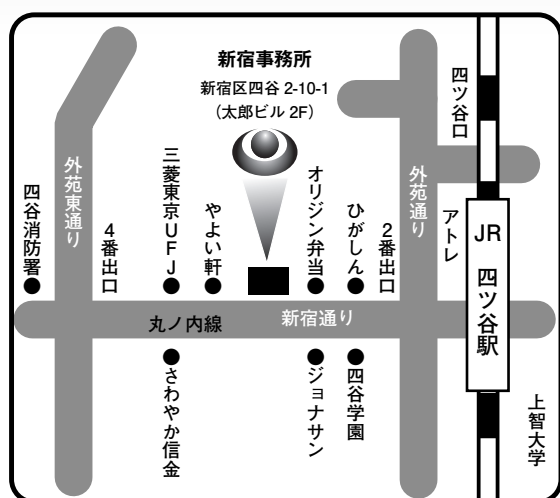
新宿事務所紹介

当事務所では、都内のお客様のご便宜を計るため、昨年7月より新宿区四谷に新宿事務所を開設いたしました。

東京都新宿区四谷2-10-1

TEL03-5919-1725

新宿事務所 税理士 井出 俊一



総会の様子

昨年6月30日中野サンプラザに於きまして総会を開催いたしました。

事業報告、事業計画、永年勤続表彰などを行ないました。



編集後記



昨年は、冬季オリンピックがあり、サッカーのワールドカップがありました。

皆様、覚えていらっしゃるでしょうか？しかし、諸外国の問題、国内経済の不安感で全て忘れ去られてしまいました。

今年こそは、皆様にとって良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。



税理士法人

東京さくら会計事務所

〒184-0003 東京都小金井市緑町5-5-4

TEL 042-385-6630

FAX 042-385-6604

編集発行人

税理士 横尾 和儀

印

刷

株式会社 税 経